

# ニラは早めの株分けと更新

肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2〜3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広く厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまうます。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間にです。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。

## 株分けの方法

は、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りにくわかスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範囲に広がっているの

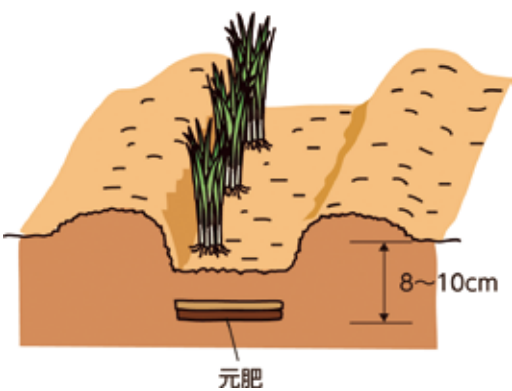


枯れ葉を切る

力を入れて大きく掘り起こす



指先で2〜3本ずつに分割する



元肥

で、全てを一気に掘り取れないので、途中で縦に切断しても構いません。掘り上げた土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2〜3本ずつに分割します。これを2〜3個まとめ、20〜25cmの株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8〜10cmぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするように心掛けましょう。

溝は深めに掘って植えた根株を換気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにと

どめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

あなたもチャレンジ! **家庭菜園** が

## 毎月大人気のホームページでもご覧いただけます!

JALレーク伊吹の公式サイトで「家庭菜園」の過去の掲載ページを簡単にご覧いただけます。過去の「営農情報」や各種キャンペーンのご案内も随時更新しております。是非検索して下さいね!

<http://www.ja-lakeibuki.or.jp/>

JALレーク伊吹



トップページ → ここをクリック! → バックナンバーがご覧いただけます